

宇部のコミュニティ・スクール

ベクトルを同じにする

コミュニティ・スクールや地域協育ネットの取組を進めるとき、ベクトルを同じにすることが大切です。ベクトルを同じにするとは、学校教育目標や目ざす子どもの姿を関係者が共通理解し、組織的取組を意図的・計画的に進めることです。

コミュニティ・スクールは、保護者・地域が学校運営に参画して「地域とともにある学校づくり」を進めます。同時に、地域協育ネットの仕組みは、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもの学びや育ちを見守り支援する取組を推進します。

目ざす子どもの育成を確実にするためには、次の2つが大切になると思います。1つ目は、学校運営や地域の子どもの学びや育ちについて話し合ったり活動したりするとき、何を目ざして取り組んでいるのかを常に確認すること。2つ目は、お互いが役割を明確にして取組を進めることです。子どもたちの生きる力の育成と地域教育力向上のため、ベクトルを同じにしてほしいと思います。

◎「コミュニティ・スクール」の取組紹介

常盤小学校

夏季休業中の平日午後を活用して、熟議が行われました。

“目ざす学校の姿「美しい学校」とは？”について、美しい心の育成や美しい環境の整備の視点からどのように取り組むかをグループ別で協議しました。話し合いの様子から、あいさつ、無言清掃、環境づくり、我慢する心、いじめについてなど多くのことが話し合われていました。

2学期以降、学校、家庭、地域が「美しい心の育成のため」というベクトルを同じにした取組を主体的に進められるであろうことが期待されました。



【教職員、保護者、地域の方がベクトルを同じにするよい部会でした。】

◎「地域協育ネット」の取組紹介

厚東川ネット会議

学校支援ボランティアの募集・申込状況の報告に続き、地域連携教育アドバイザーによる「やまぐち型地域連携教育について」の講義がありました。参加された地域協育ネットに関係する多くの方々は、熱心に講義を聴かれていました。講義後は、厚東川中学校区の地域教育力を生かし、地域総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援したいという思いをさらに強くされたようでした。

厚東川中学校区で、コミュニティ・スクールや地域協育ネットの取組が充実され、ふるさとを愛し、未来を創る子どもたちが育つことが期待されました。



【やまぐち型地域連携教育とは何かを確認できた貴重な時間でした。】

コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課 Tel 0836-37-2780

E-mail: ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp